

富田林市の小地域ごとの特徴が分かる 資料・教材作成の試み

大阪大谷大学 江上ゼミナールⅠ（3年生ゼミ）

取組の概要（昨年度）

● 富田林市の小地域ごとの特徴が分かる資料・教材の作成

- 昨年度はe-Stat 等にある既存の統計資料をもとに、
富田林市の小地域ごとのデータを閲覧できるExcel ファイルを作成
- 具体的には、
「**小地域別の男女別・5 歳階級別人口データ**」
「**小地域別の将来人口推計（2025～2050 の 5 年ごとの人口）**」
を閲覧できる資料を作成した。

※小地域…「〇〇1丁目」や「大字〇〇」といった区域

なぜ「資料・教材作成」の取組を行うのか？

- 大阪大谷大学の学生は、
必ずしも元から富田林市に縁のある学生ではないため
 - 例えば、前年度のゼミ生5名の学生の中で、
活動前から「金剛地区」を知っていた学生は1名のみ
（その1名はボランティア活動で訪問経験あり）
 - 今後、学生が新たに地域連携活動に取り組む際に、
街の概要をあらかじめ把握しやすい資料があると便利ではないかと考えた。

昨年度作成した資料のイメージ

町名をクリック！

「寺池台一丁目」の各種グラフ

「寺池台一丁目」の人口推移（2025年以降は将来人口推計の値）

左側の地図上にある町名をクリックすることで、右側にその小地域のデータが表示される。

2000年			2020年			2040年		
男	年齢	女	男	年齢	女	男	年齢	女
6	90+	11	10	90+	15	29	90+	72
6	85-89歳	10	25	85-89歳	44	28	85-89歳	56
14	80-84歳	14	36	80-84歳	76	38	80-84歳	61
18	75-79歳	42	49	75-79歳	78	54	75-79歳	86
51	70-74歳	51	93	70-74歳	101	55	70-74歳	80
53	65-69歳	84	5	65-69歳	82	64	65-69歳	82
29	60-64歳	90	5	60-64歳	75	54	60-64歳	54
63	55-59歳	84	34	55-59歳	99	34	55-59歳	35
78	50-54歳	86	34	50-54歳	86	33	50-54歳	44
66	45-49歳	90	73	45-49歳	90	37	45-49歳	44
73	40-44歳	90	60	40-44歳	59	26	40-44歳	23
90	35-39歳	111	37	35-39歳	38	19	35-39歳	26
113	30-34歳	114	35	30-34歳	46	20	30-34歳	32
67	25-29歳	127	42	25-29歳	51	26	25-29歳	33
50	20-24歳	69	37	20-24歳	35	23	20-24歳	42
57	15-19歳	48	32	15-19歳	42	32	15-19歳	34
51	10-14歳	49	32	10-14歳	48	30	10-14歳	29
72	5-9歳	63	37	5-9歳	43	28	5-9歳	28
101	0-4歳	70	25	0-4歳	38	25	0-4歳	24

今年度の目標

●さらなるデータの取得

- ・国勢調査の他のデータもまた閲覧できるようにしたり、Google Mapのスポットデータを取得して整理するなど、地域別の特徴がもっとわかるようなデータを取得したい。

●「見やすさ」の向上

- ・Excelファイルではなく、インターネットブラウザ上で見えるようにするなど、もっと気軽に閲覧できるようにしたい



スポットデータの例

地域別に、こういった施設が多いかまとめられれば、地域の特徴が分かりやすいかも？ Google Maps Platform という機能を活用することでデータ取得できるらしい

前期の取組

● 社会調査や表計算ソフト（Excel）の基本を学ぶ

- データの集計方法の基本的な事項や
収集したデータの集計方法の基本事項を学ぶ

● 調査・分析の練習も兼ねて、大阪大谷大学の 学生を対象に「富田林市の認知度調査」を実施

- 「東村山市認知度アンケート調査」等の
他の自治体による認知度調査を参考に設問を設計。
- 「教育原理」（教育学部1回生担当：履修登録149名）、
「教育の方法と技術」（教育学部2回生担当：履修登録117名）
の受講生に配布。

調査結果①

● 富田林市全体の認知度・訪問経験

認知度・訪問経験	件数	（割合）
行ったこともなく、場所もしらない	5	（2.9%）
行ったことはないが、おおよその場所はわかる	17	（10.0%）
1～数回行ったことはある	39	（22.9%）
度々訪問する機会がある	82	（48.2%）
居住経験がある	26	（15.3%）
無回答	1	（0.6%）
合計	170	

調査結果②

● 富田林市全体の認知度・訪問経験（学年別）

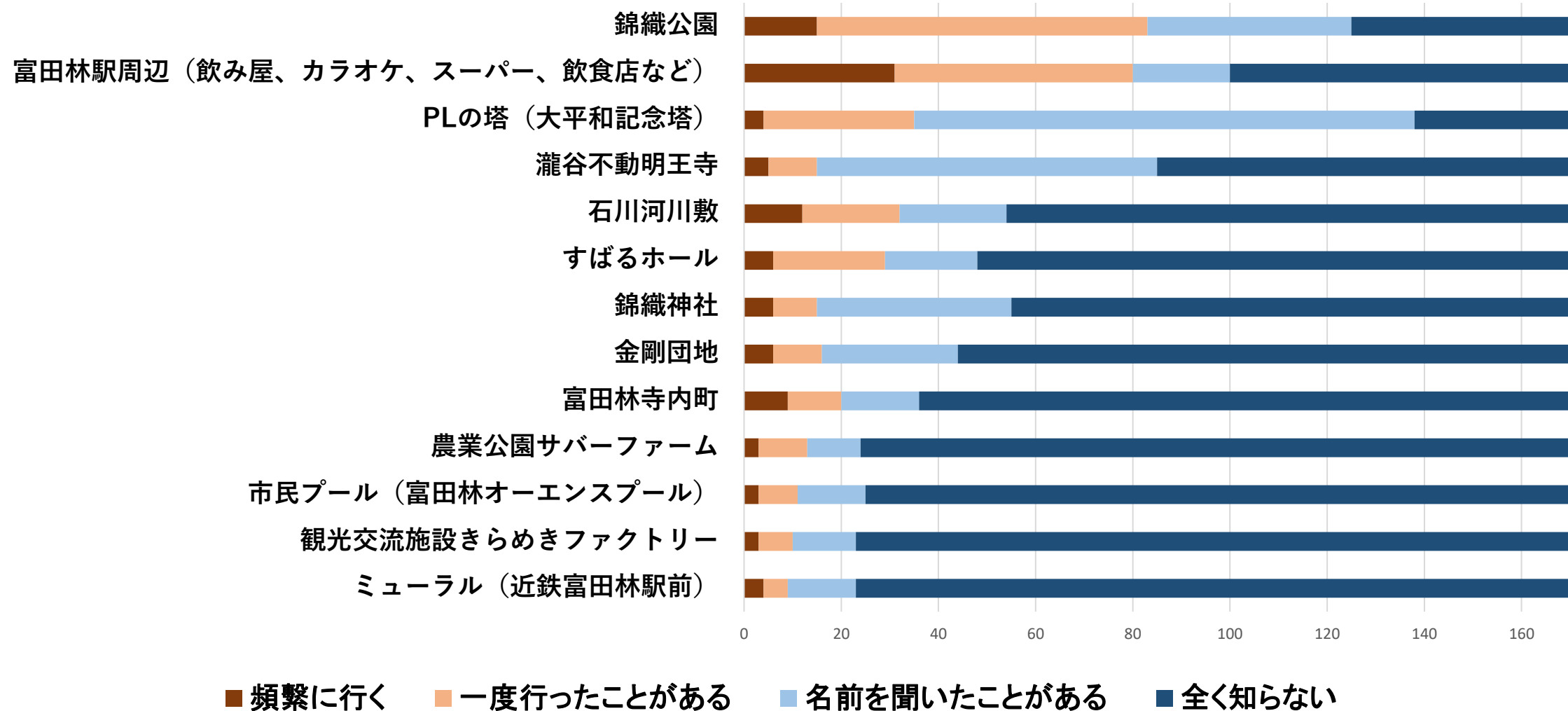
認知度・訪問経験	1回生	2～4回生
行ったこともなく、場所もしらない	5	0
行ったことはないが、おおよその場所はわかる	12	5
1～数回行ったことはある	23	16
度々訪問する機会がある	47	35
居住経験がある	15	11
無回答	1	0
合計	103	67

※ 2回生：61件 3回生：1件 4回生：5件

※ χ^2 検定の結果 $p=0.402$ であり、学年による有意な差があるとはいえない。

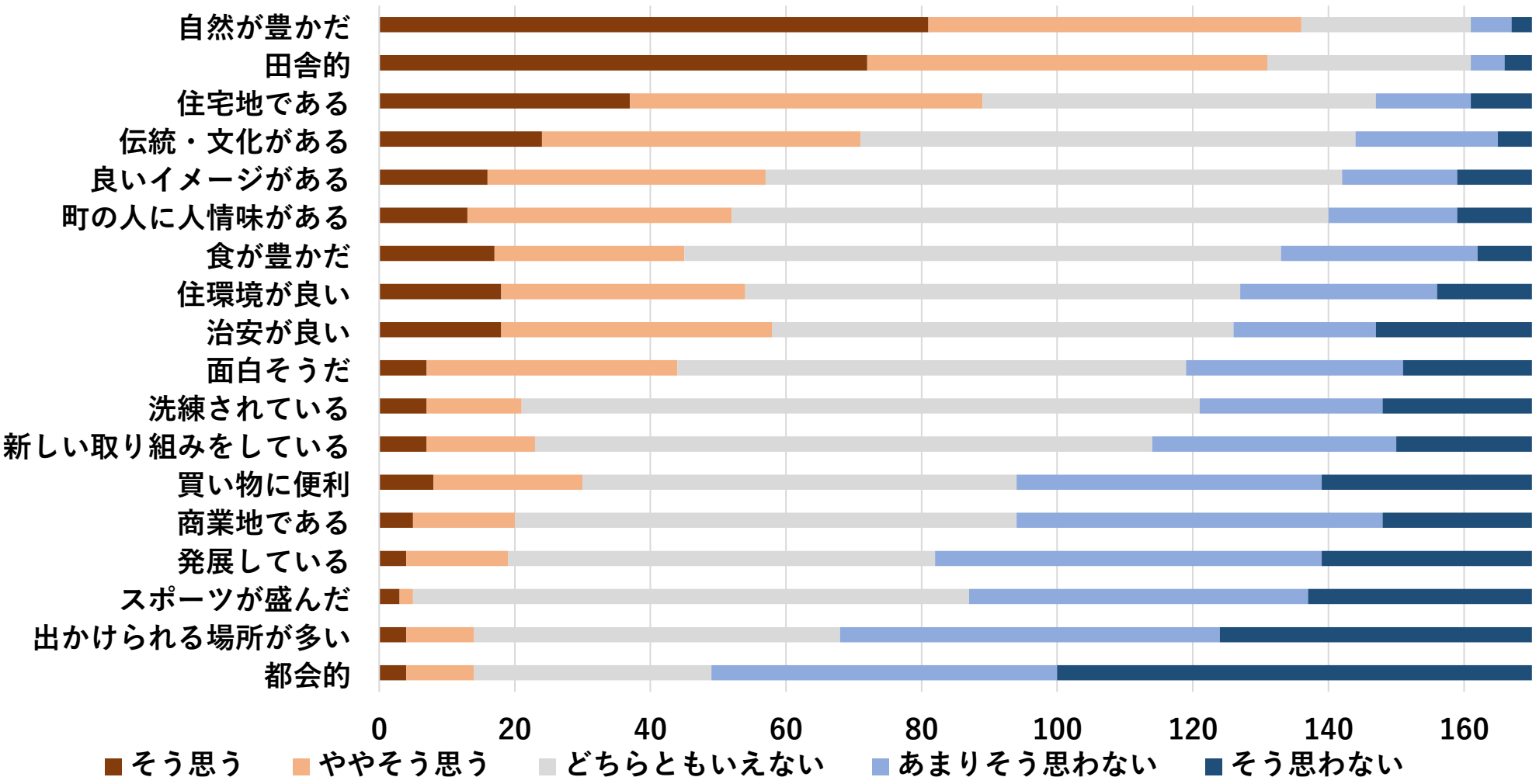
調査結果③

● 富田林の各スポットの認知度



調査結果④

● 富田林市のイメージ



調査結果を受けての今後の課題

● 富田林市の認知度に関する課題

- 大阪大谷大学の学生について、
大学周辺地域に目を向けている学生が多いとはいえない状況。
- 地域を意識する取組や資料のあり方について検討する必要がある。

● 後期の取組

- 昨年度の取組に引き続き、富田林市内の各地域のデータを収集し
資料・教材作成の基礎資料を整える。

参考資料

- 「e-Stat 政府統計の総合窓口」
<https://www.e-stat.go.jp/>
(最終閲覧日：2025/10/01)
- 「地図で見る統計 (jSTAT MAP)」
<https://jstatmap.e-stat.go.jp/trialstart.html>
(閲覧日：2025/10/01)
- 「国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」
<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/t-page.asp>
(閲覧日：2025/10/01)
- 富田林市観光協会「とんだばやしナビ」
<https://tondabayashi-navi.com/index.html>
(閲覧日：2025/10/01)
- 東村山市「認知度アンケート調査結果」
<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/bunya/shisei/citypromotion/cptorikumi/cpchousa/nintido2703.html>
(閲覧日：2025/10/01)
- 宇和島市「うわじまシティブランディングに関するアンケート調査」
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/uwajima-city-branding/r3-questionnaire.html>
(閲覧日：2025/10/01)
- 島根県「しまねの観光認知度調査」
<https://www.pref.shimane.lg.jp/tourism/tourist/kankou/chosa/ninchido.html>
(閲覧日：2025/10/01)